

地域と大学の間立つジレンマ

一般社団法人まちの企画部 井上健吾

2025年3月2日 第30回 FD・SDフォーラム 大学空白地における域学連携と地域活性化

自己紹介



いのうえけんご

井上健吾 (34)

1990年生まれ 茨城県鹿嶋市出身
京丹後市弥栄町在住
妻・4才児・0才児の4人家族

京都



東京



大阪



京丹後

- ・ 大学進学
- ・ まほロボ
- ・ 広告マーケゼミ

- ・ ITベンチャー
- ・ 東京転勤
- ・ 鬱る

- ・ 転勤
- ・ 悶々とする
- ・ 日本酒づくり

- ・ 移住！
- ・ 有機農業5年
- ・ フリーランス

すべての人が主体的にたのしく働けるまちを目指して、
公益的な事業を中心に企画・運営を行っています。

〈事業〉

- (1) 高校生と地域との交流拠点（京丹後市委託事業）
 - ・ 高校生の居場所づくり（やってみたいことカード等）
 - ・ 相談支援業務（進路・総合探究等）
 - ・ 伴走支援業務（高校生のプロジェクト等）
- (2) 地域コーディネート業務（京丹後市夢まち創り大学委託事業）
 - ・ まちづくりのフィールドワークのサポート
 - ・ 地域のニーズと大学生の学びとの調整業務
 - ・ 行政と連携した事務局運営
- (3) 事業開発支援業務
 - ・ 福祉事業者の事業開発の伴走支援等

社名 | 一般社団法人まちの企画部

設立 | 2023年2月

場所 | 京都府京丹後市峰山町杉谷843

京丹後市未来チャレンジ交流センター
roots 企画運営



京丹後市夢まち創り大学
地域コーディネート業務



コーディネート業務について

大学

(受入てくれるかな。)

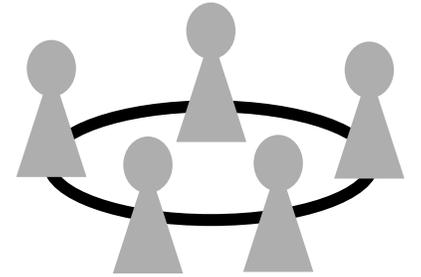


一般社団法人 まちの企画部

大学と地域の間に立ち
連携を円滑に進める

地域

(大学生こわい。)



授業内容や目的の把握

地域状況の共有とすり合わせ

フィールドワーク企画支援

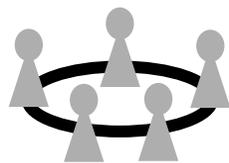
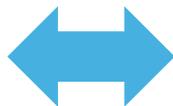
地域の現状や課題の整理

授業方針の共有とすり合わせ

受入サポート

地域と大学の間で生まれるギャップ

10年前

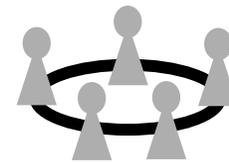
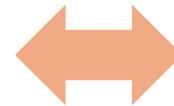


感謝めっちゃされる！
面白い体験できた！
地元の人たち優しい！

若者が来てにぎやか！
神輿かっいでくれた！
農作業手伝ってくれた！

来てくれるだけで
価値ある関係

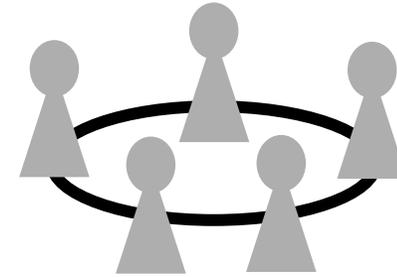
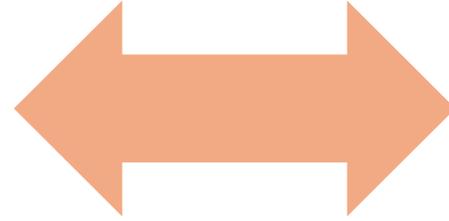
現在



なにをしたら良いの？
動いてくれない…
地域変える気ない？

遊びに来たの！？
自分たちの活動だけ？
せっかく始まったのに…

成果が出ないと
続けるのが厳しい



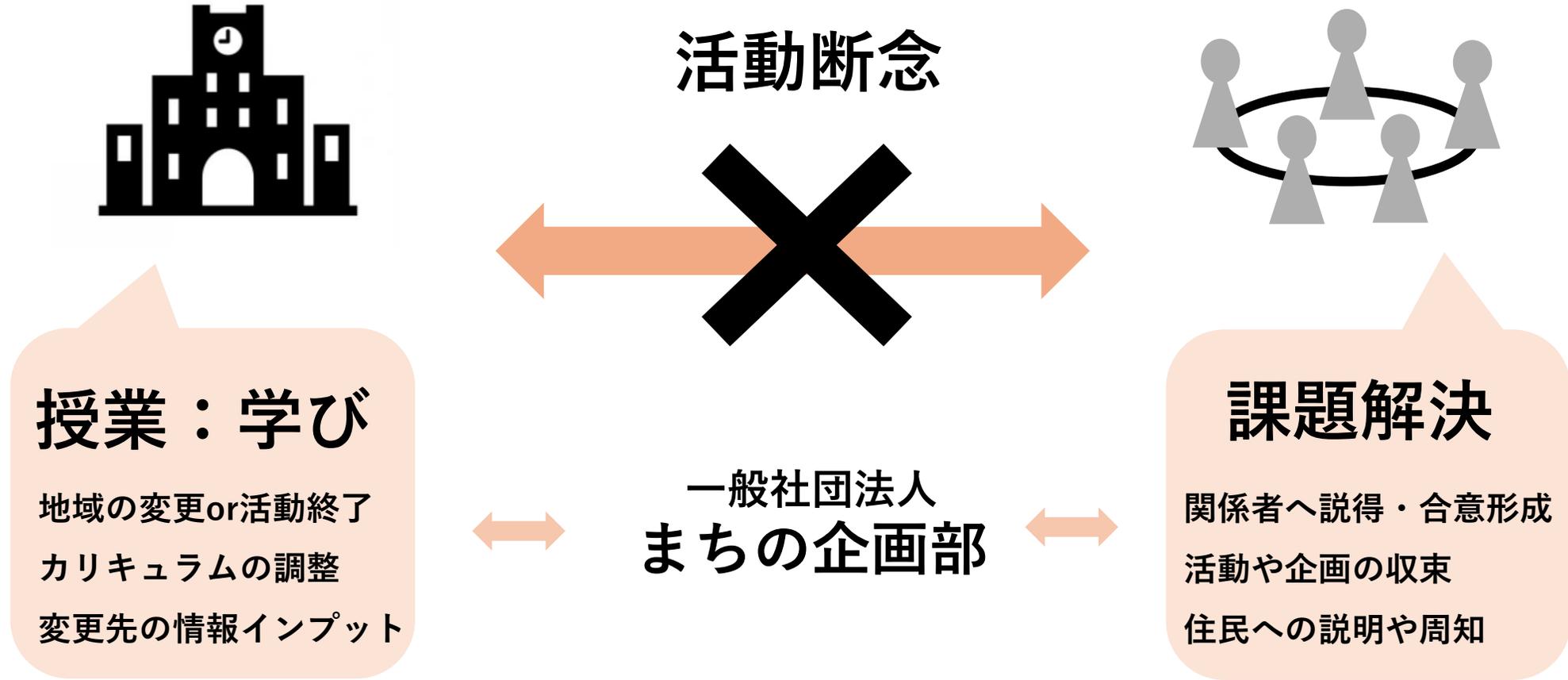
授業：学び

- ・ 学生や教授に有益な経験
- ・ 学びながら失敗もする
- ・ 学生生活に限った活動

課題解決

- ・ 少子高齢化で受入が大変
- ・ 課題が複雑(仕事/福祉/教育等)
- ・ 目の前のことで精一杯

地域の急速な衰退がギャップを深めている



双方の要件すり合わせだけでの解決が困難
照準を絞った域学連携が必要



大学

活動の専門性・独自性

学生入れ替わり前提の
カリキュラムの設計

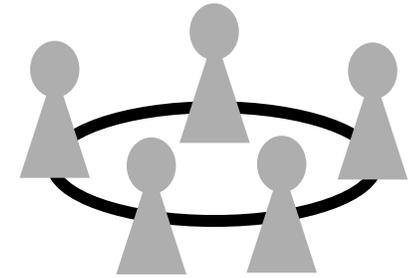
特産品の販売
学び舎としての活用



目的・テーマ
明確化

中長期視点

副次的に
強みを活かす



地域

課題整理と優先順位付け

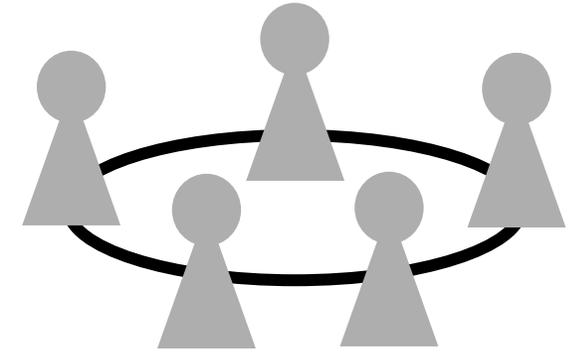
中長期の受入体制づくり

地元高校生との連携

ご清聴ありがとうございました



大学



地域

より良い大学と地域の連携
色々のご意見聞かせてください 🙏